



JRE関東 ひびき

令和3年1月11日 NO.8

JRE 関東地協 機関紙

発行責任者 秋山順一

編集責任者 佐藤定司

港区東新橋 2-8-28

自らを変える!! 明日を創る!! イースト イノベーション



とどけ! 私たちの想い!

本部「会社と共に」

を多くの仲間にご覧戴きましよう!!

=本部 HP に動画配信=

コロナ禍により、私たちの会社、そして JR 産業はかつてない厳しい経営状況におかれています。鉄道やバスの輸送量は急激かつ大幅に減少し、ホテルや飲食、物販、船舶、旅行業など発生以来 1 年を経過してもなお正常な事業運営が困難になるなど深刻な状況が続いています。JR 産業全体を見たとき休業や一時帰休など働く仲間は大きな負担を強いられ、将来に対する不安を抱かせる要因が山積されているといえます。



私たちは昨年の「緊急事態宣言」以降、JR 連合の仲間と共に JR 産業の窮状を訴えながら各種支援の継続・拡充を求めて関係各所に要請行動を繰り返し行動してきました。こうした運動の結果として、昨年末各要望事項の方向性において明るい展望も見えてきています。

私たちは、会社を守り、発展させるために、社員として、そして社員の集まりである労働組合として何ができるのか考え、行動する事が大事であると考えます!!

私たちの会社が発展する為には私たち自身の意識の再改革をはじめ、上司部下、先輩後輩を含めた職場における対話やコミュニケーションの充実、それを下支えする関係創りが大切であると考えます。さらにこうした社員の声を集約する機能を強化すると共に集約された意見を聞く、そして応える労使関係の構築も大切であると思います。会社側の一方的な考えでも、働く側の思いだけでも会社の経営はうまくいかないことはこれまでの歴史、経験の中で明らかになったのではないのでしょうか。今こそこうした歴史や経験に学び、会社の提唱する「変革 2027」を実現するため新しい労使関係を創造しましょう!!



私たちの思いを多くの仲間の皆さんにお伝え、ご理解戴くため動画のご視聴を!